

パーキンソン病あるいはレビー小体型認知症が疑われ、診断のために MIBG 心筋シンチグラフィの検査を受けた患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター脳神経内科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】
MIBG シンチグラフィの甲状腺、大唾液腺（耳下腺、顎下腺）集積のパーキンソン病診断補助指標としての有用性の検討

【研究の目的】
本研究は、パーキンソン病あるいはレビー小体型認知症の診断に役立つ新たな指標を見つけることを目的としています。これまで、パーキンソン病が疑われる患者さんに対して、体内の神経のはたらきを調べる放射線検査（MIBG 心筋シンチグラフィ）が行われてきました。この検査では主に心臓への薬剤の集まり方を評価しますが、心臓の病気がある場合には正確な評価が難しいことがあります。
一方で、この検査薬は頸部にある臓器の甲状腺、大唾液腺（耳下腺、顎下腺）にも集まることが知られています。本研究では、この甲状腺、大唾液腺（耳下腺、顎下腺）への集まり方がパーキンソン病あるいはレビー小体型認知症の診断に役立つかどうかを調べます。
過去にすでに行われた検査画像や診療記録を用いて、甲状腺、大唾液腺（耳下腺、顎下腺）への集まり方と最終的な診断結果との関係を解析し、診断の手がかりとして利用できるかどうかを検討します。

【対象となる方】
脳神経内科にてパーキンソン病あるいはレビー小体型認知症などが疑われ診断のために MIBG 心筋シンチグラフィの検査を受けた方

【使用する診療情報】
カルテ情報： 診断名、年齢、性別、既往歴、罹病期間、神経所見（MMSE, MOCA-J, MDS-UPDRS）、MIBG シンチグラフィの検査結果

【研究期間と参加予定人数】
この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長許可日〔2026 年 5 月 12 日〕から 2027 年 3 月 31 日まで実施され、100 名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】
利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで仮名化されたのち解析を行います。
また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【データの保管】
この臨床研究によって得られたデータは、鍵やパスワードなどで保護し、第三者へ漏洩することがないように厳重保管され、研究の中止あるいは終了後 5 年または最終公表 3 年のいずれか遅い日まで保管されたのち、適切に廃棄されます。

【結果の公表】
この研究の研究成果は学会で発表予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】
獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経内科 宮本 智之（主任教授）

【問い合わせ先】
埼玉県越谷市南越谷 2－1－5 0
獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経内科 担当者：宮川 公兵（病院助教）
電話番号：048-965-1111（代表） 1532（内線番号） 月曜日 9～17 時、木曜日 13～17 時

以上